

治療と仕事の両立支援 に取り組みましょう

健康な労働者であっても、病気により、これまでどおりの仕事ができなくなることがあります。事業者が、治療と仕事の両立を図る取り組みを行うことは、業務による疾病の憎悪を防ぎ、労働者の健康を確保するだけでなく、

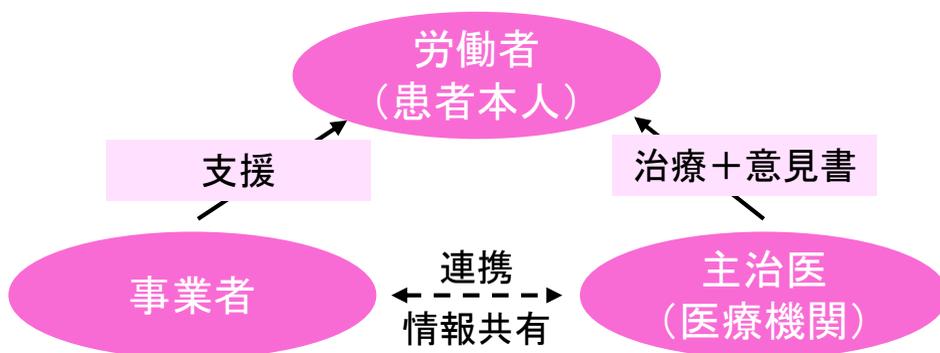
- ・ 継続的な人材確保
- ・ 労働者の安心感やモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上
- ・ 多様な人材の活用による組織や事業の活性化
- ・ 組織としての社会的責任の実現
- ・ 労働者のワーク・ライフ・バランスの実現



といった意義もあり、企業経営の面からも大変重要になっています。

「治療と仕事の両立支援」はどのようなことをするの？

- ・ 治療と仕事の両立支援は、疾病により支援が必要な労働者(患者)本人による申し出から始まります。
- ・ 労働者の仕事に関する情報を主治医に提出し、主治医から症状・治療の情報、就業上の措置等に関する意見を受けます。
- ・ 主治医意見を参考に、就業継続の可否や、就業可能な場合の就業上の措置及び治療に対する配慮など「両立支援プラン」を作成し、労働者を支援していきます。



「治療と仕事の両立支援」の体制整備にご活用ください

- ・ 「治療と仕事の両立支援ナビ」ポータルサイト
- ・ 事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン
- ・ 両立支援連絡帳 ・ 両立支援カード(令和6年3月様式例追加)

左記の詳しい
内容は
山口労働局
ホームページ
から見ること
ができます



治療と仕事の両立支援
ページはこちら



「山口産業保健総合支援センター」はご存じですか？

山口産業保健総合支援センター(さんぽセンター)では、治療と仕事の両立を支援するため、社会保険労務士や保健師などの専門スタッフ(メンタルヘルス対策・両立支援促進員)による両立支援に関する研修・セミナー、事業者やがん等の患者(労働者)からの相談対応、事業者への個別訪問支援及び患者(労働者)と事業場の個別調整支援を実施しています。また、山口労災病院や県内のがん拠点病院等の医療機関と連携して相談窓口を開設しています。



さんぽセンター
ホームページのリンク

両立支援コーディネーターを配置しましょう

両立支援コーディネーターは、支援対象者が治療と仕事を両立できるよう、それぞれの立場に応じた支援の実施、両立支援に関わる関係者(患者、事業者、医療機関)との調整(橋渡し支援)を行います。

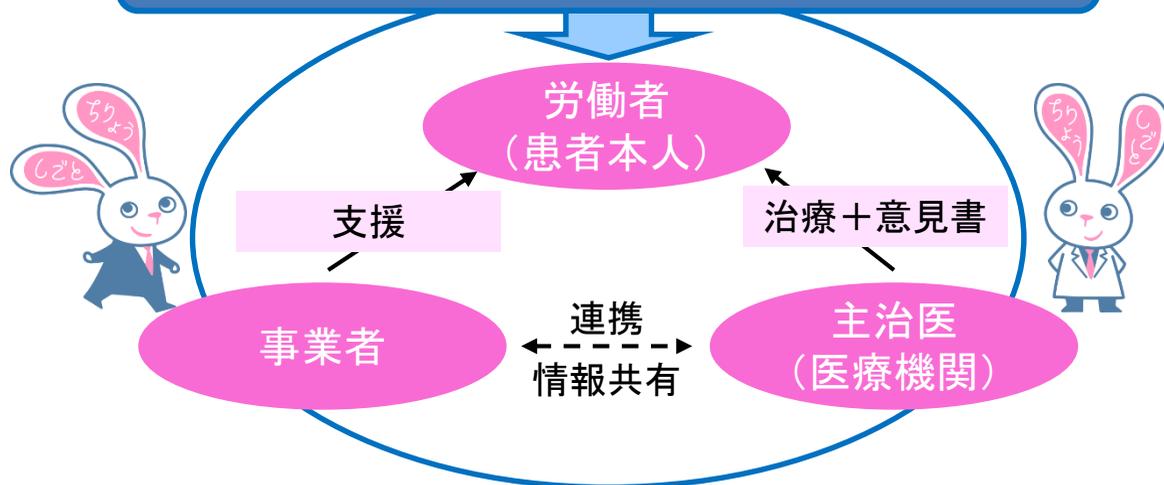
企業内、医療機関内に両立支援コーディネーターを配置し、労働者(患者)への継続的な相談支援を行うことが望ましいです。

両立支援コーディネーター基礎研修(無料、オンラインで受講可)を受けることで、両立支援コーディネーターになることができますので、多くの方の受講をお願いします。



両立支援コーディネーター
基礎研修について
(労働者健康安全機構HP)

両立支援コーディネーターによる橋渡し支援



山口県地域両立支援推進チームを設置しています！

山口労働局では、労働基準部健康安全課が事務局となり、地域の関係団体の皆様と協力し、山口県における治療と仕事の両立支援の取り組みを計画的・継続的に進めています。



推進チームのアクション
プランについて

このリーフレットのお問合せ先：山口労働局 労働基準部 健康安全課
(TEL 083-995-0373)